小浜西組
町並み協議会

町並み月報

ベンガラ格子が灯る町

発行日：平成23年6月24日（第83号）　発行責任者：澤口 輝禅（浅間１ TEL.53-2327）
http://obama-nishigumi.sakura.ne.jp/

【金沢東山ひがしの町並みと文化を守る会】視察研修に来られる

平成２３年６月７日（火）【金沢東山ひがしの町並みと文化を守る会】の方２２名と金沢市の職員さん３名が、小浜西組地区に視察研修に来られました。予定時刻の１０時に小浜公園に到着され三丁町周辺から浅間、鹿島を通り、町並み保存資料館へと向かいました。

説明を熱心に聞かれる参加者のみなさん

三丁町では21年度と22年度の国の補助事業で完成をした家屋をみていただきました。「格子の色は、東山ひがしは赤っぽい色なので、このこげ茶がいいわ」と女性の方は言っておられました。また時節柄屋根の軒先にしょうぶとヨモギの葉が載せてあるのを見てなにか意味があるのか数人の方に尋ねられました。旧節句の頃に魔除けの意味を込めてこのようなことをするのだと話すと、金沢の方ではこの時期、しょうぶの葉を寝具の下に敷いて寝るそうで、無病息災の意味があるということです。所かわれば・・・ではありませんがいろんな風習があるのだと思いました。

三丁町を散策中

又、常高寺の境内にＪＲの電車が走っていることや、参道脇に別のお寺があることも「めずらしい。」と口々に言っておられました。鹿島区に多くみられる玄関口にある井戸のマークも珍しいようで皆さんはさかんにカメラのシャッターを押しておられ

ました。

散策が終わると町並み保存資料館において意見交換会がおこなわれました。【金沢東山ひがしの町並みと文化を守る会】の会長様から事前に質問事項が届いており、それに基づいて会は進められました。質問の項目は次のようでした。

＊小浜西組町並み協議会の役員会、各部会の概要及び組織図
＊町並み月報に関する作成者および
　長く続く秘訣
＊町並み保存資料館の運営方法
＊防災組織の活動
＊空き家対策とその活動
＊インターネット活用について
＊「住みたい」と思われるための活動は

資料館での意見交換会の様子

以上については１時間余りの交換会において小浜西組町並み協議会の役員が返答いたしました。

【金沢東山ひがしの町並みと文化を守る会】の方々は午後からの予定の熊川宿へと向かわれました。

金沢市東山ひがし（茶屋町　石川）
文政３年（1820）に、犀（さい）川西側の「にし」とともに「ひがし」の茶屋町として浅野川の東につくられた。このときに、旧来の不整形な町割をあらため、整形な街区が形成された。街路に面して、一階に出格子を構え、二階の建ちを高くして二階に座敷を置く茶屋町らしい町家が連なり、全国でも数少ない茶屋町の風情をよく残している地区である。平成13年11月14日に重伝建地区に選定される。（「町並みアーカイブ」ホームページより引用）

小浜西組町並み協議会　第１回役員会報告

日　時：平成２３年５月１９日（木）１９：３０
場　所：鹿島　町並み保存資料館

１　会長挨拶
２　小浜商工会議所まちづくり委員会より連絡

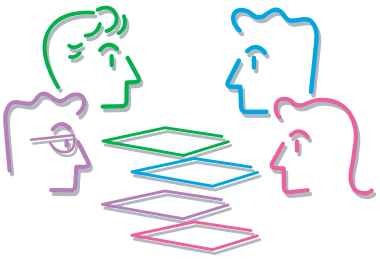
今年１０／３０（日）に行われるオリエンテーリングが、今年は西組を会場に行われることになった旨、お知らせがありました。西組の皆様にはお手伝いをお願いすることになるかもしれませんが、その際にはよろしくお願いしますとのことでした。

３　市より報告

異動で来られた岩田課長よりご挨拶がありました。課名が「文化課」に変わったこと、事業担当は審議会が野瀬氏、歴まち法が下仲氏、武田氏遺跡が西島氏、まちなみ整備チームが北野氏、協議会が松澤氏、景観形成・重伝建補助・現状変更・資料館が野瀬氏、防災と食の館が西島氏、にぎわい創出が下仲氏ということもお知らせがありました。また、他市から防災団体の会長が西組に来られるとのことで、５／２９（日）の１０：３０から１１：３０まで、協議会事務局と共に対応させていただきます。

また、今年も景観形成助成金を設けましたので、希望の方は、７月末までに見積の提出をお願いいたします。

４　重伝建補助事業の説明会について



市役所より開催する旨、お話がありました。普段の疑問などを区単位もしくは二区まとめての形で座談会方式でお答えします。西組協議会と共催の形で行います。

５　総会資料について

新規事業計画として、住民へのアンケート調査を行ったらどうかという意見が出て、採択することに決定しました。質問内容は適宜事務局が取りまとめることとなりました。その他、総会資料の原案に間違いがあり、ご指摘をいただき、修正しました。

６　総会日程について

日時：平成２３年６月２０日（月）１９：３０より場所：福祉センター（第二保育園二階）となりました。

７　空き家対策事業について

空き家の中で、売買、賃貸希望の空き家７軒の調査を終了し、西組協議会のホームページ上に公開いたしました。今月末にもう一軒の調査に入ります。

８　その他

協議会と市役所など、関係者で一度懇親会をもったらどうかという意見が出ました。今後、検討して行きます。

アーティストインレジデンスについては、県の予算をいただくことがほぼ決定しました。ただ、あまりに盛りだくさんのイベント内容なので、少し整理をします。浜辺のアートフェスティバルなどは外していく方向で検討中です。

町並み月報について

編集委員　石 野 幸 子

毎月発行されている『町並み月報』

皆様にはいつも『町並み月報』をご覧いただきありがとうございます。又、月報作りに協力して下さっている方々にお礼申し上げます。

さて、『町並み月報』について書こうと思ったきっかけは、先日、小浜西組に視察研修にお見えになった【金沢東山ひがしの町並みと文化を守る会】の会長様から『町並み月報』を長く発行する秘訣等を尋ねられたことからです。「秘訣のようなものはありませんが一生懸命取り組んでいたら８２号になっていましたという感じです。」とお答えしました。

地域で行事やイベントが行なわれたり、役員会や各部会が活動しているときは月報を通じて皆様にお知らせすることができますが、何も活動していない時は内容を考えるのに四苦八苦します。しかしこの時が地域住民の方の町並みに関しての意見、感想を聞けるチャンスでもありますので、投稿があったものや、依頼した方の原稿を載せたりしています。また、『町並み月報』を身近なものに感じていただくためにお店訪問や人物紹介の記事もあります。

原稿を書いていただくと、住民（書いていただいた方）の考えや思い、意見等がよくわかりますので、しぶしぶでも書いてくださる返事をいただくと、とても嬉しいです。原稿を書くのはちょっと苦手…だと言われる方には、インタビュー形式でうかがいますので遠慮なく言って下さい。

原稿と写真が集まったら『町並み月報』の仕上げに入ります。この作業は他の編集委員が行ないます。この人にかかるとすばらしい紙面になって返ってきますので私のとても楽しみな時間でもあります。そして印刷をして皆様の手元にお届けします。前号でも紹介したように、ホームページではカラーで掲載しています。

「わかりやすく」をモットーにした『町並み月報』を通じて、町並み協議会の活動を理解していただき、皆様には今後ともご協力のほどをよろしくお願いいたします。

（編集委員：澤口会長・石野幸子・武部邦雄・桂田定樹・岩崎妙子）